

188殉教者 福者に挙げられる

30,000人の歓喜の祈りと歌声の中で、
ジョゼ・サライバ・マルティンス枢機卿によって宣言



2008年11月24日(月)、日本のカトリック教会にとって記念すべき初めての列福式が、教皇庁主催で荘厳に行われ、イエゴ加賀山隼人、小笠原玄也家族15人を含む188殉教者が福者の列に加えられた。会場になった長崎ビッグN・スタジアムには開場と同時に信徒が次々と入場、長崎教区信徒など3000人のボランティアの丁寧な案内もあり、トラブルなく会場は喜びと祈りの場となった。諸事情で参列できなかった人々のために準備されたライブ放送の会場となったカテドラルでは多くの人が感動の涙を流しながら見入っていた。



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通39
発行人 カトリック福岡司教区
編集人 森山信三
TEL 092-522-5139
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

12月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般の意向】いのちの文化
【布教の意向】兄弟愛の具体的な態度
【日本の教会の意向】子どもたちの尊厳の尊重

教皇書簡

わたしは、日本の兄弟姉妹である全信者の請願を受理し列聖省の助言に基づく審議の結果、1603～1639年に日本各地で殉教した神のしもべ、イエズス会盛式誓願修士ベトロ岐部カスイ司祭と殉教者である以下の尊者を使徒的権威によって福者の列に加えます。

八代の殉教者・ヨハネ南五郎左衛門、シモン竹田五兵衛ほか9人。萩・山口の殉教者・メルキオール熊谷元直とダミアン。薩摩の殉教者・レオ税所七右衛門。生月の殉教者・ガスバル西玄可ほか2人。有馬の殉教者・アドリアノ高橋主水ほか7人。天草の殉教者・アダム荒川。京都の殉教者・ヨハネ橋本太兵衛、テクラほか50人。小倉・大分・熊本の殉教者・ディエゴ加賀山隼人、小笠原玄也、みやほか15人。江戸の殉教者・ヨハネ原主水。広島島の殉教者・フランシスコ遠山甚太郎ほか2人。島原・雲仙の殉教者・パウロ内堀作右衛門、ヨアキム峰助太夫ほか27人。米沢の殉教者・ルイス甘糟右衛門ほか52人。長崎西坂の殉教者・イエズス会修士ニコラオケイアンと長崎のカテキスタミカエル薬屋、イエズス会盛式誓願修士ジュリアン中浦司祭、アウグスチノ会修士トマス金鏑次兵衛司祭。大阪の殉教者・イエズス会盛式誓願修士ディエゴ結城了雪司祭。

イエス・キリストの福音を勇気をもってあかしした、この殉教者たちの記念日は、法令の定める場所と形式に従い、毎年7月1日に祝うことにいたします。

父と子と聖霊のみ名によって。アーメン。

教皇がサンピエトロ広場からメッセージ

ベトロ岐部と187殉教者の列福に寄せて

11月23日(日)正午にサンピエトロ広場で行われた「お告げの祈り」の中で、教皇ベネディクト十六世は、24日(月)正午から長崎市・ビッグNスタジアムで行われるベトロ岐部カスイと187殉教者の列福に向けてイタリア語と英語でメッセージを述べました。

明日、日本の長崎市で188名の殉教者の列福が行われます。188名は全員、17世紀初頭に殺された日本人の男女です。日出づる国のカトリックの共同体とすべての国民にとってきわめて重要なこの機会にあたって、わたしはこの人々に霊的に寄り添うことを約束します。……また、日本のわたしたちの兄弟姉妹

列福の儀が始まり、殉教者ゆかりの9教区の司教たちが、各々列福宣言の要請を行った。福岡教区は宮原良治司教によって八代、小倉、天草、熊本などの28人の殉教者が紹介された。同枢機卿が列福を宣言。殉教者の聖画が各教区の青年たちの手によって除幕、188羽の鳩が放たれた。続く聖書の朗読では、点字による旧約聖書が流暢に朗読され、また答唱詩編が一人の女性によってスタジアムの隅

までも届くように祈りを込めて歌われたことに一同、感銘を受けた。

司式した白柳誠一枢機卿は、説教の中で今回の福者の大多数は信徒であることに触れ、「それは司祭たちによる熱心な信徒養成、また、家族一体となつての信仰の実践、近辺の信徒の家庭が一緒に果たした小さな教会の役割を果たしたこと、特に迫害下にあつては『家庭教会』として、信徒たちが役割分担して子どもたちに教理を教えたり、一緒に祈って信仰を深め、神様の特別な恵みで殉教をも受け入れることができたのでした」と述べ、家庭が果たした大きな役割について語った。(全文を四角)

ミサの終わりになされた教皇メッセージに込めて列聖列福特別委員会委員長長溝部脩司は、聖座に対して謝辞を述べ、今回の列福調査をすすめる過程の中で、日本の教会と普遍教会の結びを実感したと語った。さらにその調査のために尽力された方々の中でも式直前に帰天された結城了悟神父の名前があがったとき、会場からは大きな拍手が起きた。最後に溝部司教は、今後は日本の教会の刷新を求

めて、殉教者とともに400年間にわたる共通の記憶を大切にしながらこの時代を勇気をもって生き抜いていこうと語った。(全文を六角)

列福式は、3時間半に及ぶ長時間の典礼であったが、参加者はその感動を口々に語った。その中で、殉教者という存在はこれまで遠い存在だったが、今日の式に参加して身近になったという人、日本の教会とバチカンとのつながりを実感したという人もあった。また、式直前まで雨が降ったことにある信徒は「殉教者の喜びの涙だと感じた」と語った。救護室に子どもを連れて行った若い母親は、そこにいたシスターが、濡れた靴下を新しい靴下に履き替えてくれたうえに、「お母さんも暖かいお茶を飲んでいきなさい」と母親まで気遣ってくれたことに感銘を受けた」と語った。サラエバ枢機卿は式後のレセプションの中で「何を手に入れるか」よりも「どうあるか」が大切であること、死に至るまでの英雄的な行い、ゆるすこと、助け合うことなどが殉教者が示している価値だ」と述べたが、このような精神が随所に息づいていた列福式であった。(M)

ぶちくせ

ふ

列福式を終えた私たちは、今後この祭典を単にイベントに終わらせないためには、ひとり一人の変革、教会の刷新が求められる。開催地の長崎では、たくさんの方のボランティアが活発に奉仕しておられて、本当に頭が下がった。しかしながら長崎でさえ、ある種の冷めた空気があると伺った。莫大な費用と、労力を使ってこんな大きな式典をする必要があるのか、一体そのことにどんな意味があるのか等々。▲このような教会内部の声とは裏腹に教会の外では、列福式に合わせて各種のイベント、キリシタン関係の展覧会などが企画され多くの人が足を運んだ。これらの動きに対して、単に列福がビジネスに利用されたに過ぎないと思える向きもある。しかし、聖パウロは「どんな理由であれ、キリストが告げ知らされていくのですから、わたしはそれを喜んでいきます。(フィリピ1・17)」と言っている。▲教会の中ではよく「信仰を守る」という表現が使われる。それは多くの場合、ミサに忠実に参加しているとか、教会の掟に沿った生活をしているという意味で使われる場合が多い。もちろんこれらを否定する者ではない。しかし、キリシタンが「信仰を守り通した」と言うとき、それは、貧しき人を助け、自分の信仰を次の世代に継承した、あるいは何よりも当時の「国是」に対して「No」を貫いた、というように、自分が受けた信仰を他者に向けていたことが知られる。ここに今回の列福式を通して、私たちが気づくべき大切な秘密が隠されているように思えてならない。(M)

教区各地で待ち望んだ列福式

そしてこれから

ペトロ岐部と187殉教者の肖像画
三牧樺ず子作

「殉教者に倣う」生活に生かすため

熊本

昨年9月、殉教者の霊性を知り、生活に生かすために「殉教者に倣う」というテーマで長崎教区の名譽神父に講演を依頼しました。

講演会には、熊本県下の教会から300余人が集まり古巣神父の話に参加者はみな感銘を受け、自分たちの信仰における先祖に倣いたいという思いに掻き立てられました。



司祭、修道者、信徒による実行委員会を立ち上げ、熊本、天草への巡礼者の便宜を図ることを考えロードマップを作

デイエゴ加賀山準人に倣って

小倉

小倉の地には400年以上前に教会堂が建てられ、デイエゴ加賀山準人を始めとしてたくさんの信者がいたと記録に残されています。しかし、その繁栄も1613年の徳川家康の全国禁教令で継続

かなわず、1619年までにデイエゴを始めとして30数人が殉教の死を遂げたと伝えられています。その多くの殉教者の代表として、この度デイエゴ加賀山準人が列福されました。小倉教会では、もう何年も前からデイエゴの列福を願って祈願ミサを毎月行っていました

が、教区一を誇る信者数なのに毎回参加者は20人足らずと啓蒙することの難しさを痛感した年月でした。しかし、1年前、今回の列福が正式に決まるとようやく小倉の信者の心にもじわじわと喜びが湧いてきたように見受けられました。特に今年に入っ

製することにしました。

また、小教区でも各々の取り組みがなされ、手取教会では、主日のミサで連続6回、殉教者や殉教について話しをし、黙想会でも殉教者をテ

四旬節黙想会が投げかけた殉教者とは

大名町

大名町教会では、今年の年間目標を「ともに歩こう キリストの道 あかしの道」としています。年間目標は毎年5月の信徒総会で決定しています。このテーマとなったのは、2月に行われた四旬節の黙想会で長崎教区の名譽神父様が、11月に予定されていた「ペトロ岐部と187人の殉教者」の列福式に向け、「殉教者と現代の教会」をテーマで指導してくださったことがきっかけです。



列福式のこととは知っていても、殉教者についてほとんど何も知らなかった信徒に、具体的なエピソードをふんだんに交え、わかりやすく説明や講話をしてくださいました。殉教者がしたことを知り、私たちは殉教者にならって何をするのかという、重い課題をいただきました。

てからは、巡礼の地として何をしてよいか話し合わせ、訪問者に配る立派なカードが用意されました。「列福をひかえ、ともに祈る7週間」が配布されてからは、各勉強会で、この冊子をテキストに分

教会学校・堅信準備「殉教」もテーマ

行橋

行橋小教区では188人の列福が決まるまで、「デイエゴ加賀山準人の列福を求める祈り」を毎週主日のミサの中で、信者一同祈り続けていました。それだけに列福決定は大きな喜びでした。

今年に入り、教会学校では、召命の集いの作品のテーマを、列福にちなみ、「殉教」に決め、子どもたちは殉教者について学びつつ、今、自分たちは何を捧げられるのかを考えました。来年堅信を受けるメンバーは、20回ほどある準備クラス

マに祈りました。これらを通して学んだことは、殉教者の霊性とその生き様、自分たちの信仰が殉教者から受け継がれていること、殉教者の霊性を受け継ぎ、次の世代、周りの人に福音を証しすることの重要性、そして信徒同士の交わりの大切さなどでした。

列福式のこととは知っていても、殉教者についてほとんど何も知らなかった信徒に、具体的なエピソードをふんだんに交え、わかりやすく説明や講話をしてくださいました。殉教者がしたことを知り、私たちは殉教者にならって何をするのかという、重い課題をいただきました。

3月から、教会委員会で11月の列福式に向けて小教区としてどのように取り組むかを検討しました。その結果、列福式と殉教に関することを年間テーマとして取り上げること

を信徒総会に提案することとなり具体的な活動として、①殉教者についての学習会、②殉教者に関する信徒間での分かち合い、③殉教者を擁する教会との交流、④巡礼などを計画しました。

6月に信徒総会で年間テーマが決まり、直ちに年間の事業を計画して実施しました。これまでに行った主な事業は、学習会として殉教に関する導入からはじめ、ジュリアン中浦、ペトロ岐部を中心とした学び、その前後に「殉教とわたし」、「私たちは何をすれば？」をテーマに2、3人

不動山キリシタン殉教者にも思いをはせ

佐賀

佐賀教会では「列福をひかえ、ともに祈る7週間」の冊子が発行されていることを事前にお知らせしました。各自に配布し、10月5日の全国一斉「祈願ミサ」から始まることをまず意識しました。

それから毎週日曜日のミサの中で解説と祈りを信徒で当番を決めて朗読することになりました。

が発表した後、参加者で分かち合いました。これまで7回の集まりを持ち、その間で、島原の有馬殉教祭への参加、福岡市内史跡散策(キリスト教ゆかりの教会があった場所などを訪問)なども行っています。以上、教会全体としてこの1年を列福と殉教者について学び、倣うことにし、これまで意識していなかった日本多数の殉教者があかししようとした信仰を私たちがいかに受け継ぐか、各自で受け止め、考え続けています。学習会で「何をすれば？」と自分を分かち合ってくれた青

佐賀地区では嬉野市不動山にキリシタン殉教史跡があり、毎年12月第2日曜日に現地に不動山殉教者祈念祭を行っていただきますので、「殉教者」という言葉への関心もそれなりに培われています。しかし、今回のペトロ岐部と187殉教者の列福の裁可の中でこの冊子は、信徒にとって殉教者をもっと身近に感じながら7

年の富上幸恵さんは列福式で福岡教区代表として殉教者ゆかりの地の土を奉納する大役を果たし、「殉教者が守り伝えてくださった神様の愛、信仰を何らかの形で表すべきだ」という使命感を強く胸に抱きました。神様が与えてくださったタレントを活かして青年活動する、の前にまず祈らなければいけないと感じています。生活の中心を神の家に戻すことから始めます。殉教者が証した信仰を皆様と共に守っていきたいと思っています。」と話してくれました。

26聖人記念館初代館長 結城了悟神父帰天

11月17日(月) 20時37分、長崎市の聖フランシスコ病院で逝去された。享年86歳。結城神父はイエズス会司祭で40年以上にわたって26聖人記念館の館長を務め、キリスト教の歴史研究に熱心に取り組んでこられた。この度の188殉教者の列福にも多大なご尽力を注がれ、神父様のお力なしには列福はなかったとさえ言われるほどで、列福式を心待ちにしながら闘病されていた。

ミラノ外国宣教会司祭 R・マダリン神父帰天

11月26日(水) 16時10分、久留米の聖マリア病院ホスピスで逝去された。享年84歳。1954年に来日し、56年から2000年まで佐賀地区の教会で司牧に従事された。01年からは聖マリア病院のチャプレンとして就任され、患者さんや職員のこころの支えとなっていた。また、カテドラルでのゆるしの秘跡の奉仕を始められ、今も数人の司祭の奉仕に繋がっている。

宣教者パウロのシルエット③

パウロが迫害の旅でダマスコに近づいた時、突然、天からの光が彼の周りを照らした。パウロは地に倒れ、サウル、サウル、なぜ私を迫害するのか、と呼びかける声を聞いた。「主」よ、あなたは何をなさるべきことが知らされる、という答えがあった。パウロは起き上がった、目を開けたが、何も見えなかった。人々は彼の手を引

いてダマスコに連れて行った。ダマスコにアナニアという人がいて、主から幻を受け、ユダの家にいるサウルという人に逢い、彼の上手を置けば見えるようになるのと知らされた。彼がパウロのところに行くと、言われた通りにすると、目があいた。そこでパウロに洗礼を授けた(使徒9:3-19)。このことは使徒言行録に三回記載されており、ご復活につぐ大事件で、迫害者パウロは、暫くのち宣教者パウロとなった。 森山 敬三 (大名町教会信徒)



いい人だ ただでティッシュを配ってる 雑用のない人生はひまだろう 坂牧春妙

別れ・出逢い・旅立ち

草苑

カトリックのご葬儀

互助会制度もご利用できます。

木下株式会社

TEL 092-526-5656

〒810-0016

福岡市中央区平和3丁目1-5

待降節の黙想会

ご案内

- ① 12月6日(土)～7日(日) 指導：内山恵介神父
- ② 12月13日(土)～14日(日) 指導：来住英俊神父
- ③ 12月20日(土)～21日(日) 指導：来住英俊神父

カトリック福岡黙想の家

聖堂／洋個室(洗面トイレ付)／冷暖房／浴室シャワー室／障害者用トイレ／エレベーター
カトリック御受難修道会・宗像修道院
811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222・Fax 0940-32-3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/~fmokuso/index.htm



ミサ用ワイン



VINO DE MISA

スイートタイプ(赤)(白)

ご用命 お問い合わせは

有限会社 大楠酒店

ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号

電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

本との出会い 人との出会い 神との出会い

 セント・ポール
FUKUOKA

キリスト教書籍・信心用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会 1F
平日／AM 10時～PM 6時
日・祝日／AM 11時～PM 4時（水曜日定休日）
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:<http://www.pauline.or.jp>

キリストの愛に共に生きる

カトリック教会のカテキズム

日 時：2009年1月25日（日）15：00
場 所：カトリック大名町教会
講 師：櫻井尚明神父（大名町教会主任）
参加費：1回 500円
資 料：カトリック教会のカテキズム

聖パウロに学ぶ神学講座

第2回 12月14日
〔伝道旅行〕 牧山美好神父
【時間・会場】
各回日曜日 13：30～16：00
会場：カトリック手取教会 信徒会館大ホール
【受講料】全6回＝5000円／1回＝1000円
【問合せ】手取教会（TEL 096-352-3030）岸
【主 催】熊本地区神学講座実行委員会

第61回 福岡市民クリスマス

合唱と合奏のタベ & クリスマスメッセージ
日 時：12月8日（月）開場 19：30
場 所：福岡市民会館大ホール
合 唱：福岡市民クリスマス合唱団
合 奏：福岡市民クリスマス合奏団
メッセージ：踊一郎牧師（西南学院バプテスト教会）
参加費：無料

福岡教区広報室アドレス
E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案 内 板

会合と催し

12月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 12月

◇6日（土）～7日（日） 待降節の黙想会（指導：内山神父）
◇13日（土）～14日（日） 待降節の黙想会（指導：来住神父）
◇20日（土） 北九州チェナクルム
◇20日（土）～21日（日） 待降節の黙想会（指導：来住神父）
◇30日（火）～1月3日（土） 年越し黙想会（指導：来住神父）
＊毎週火曜日は「祈りの日」11:00ミサから15:00まで予約無しで参加できる日帰り黙想！皆さまどうぞいらしてください。
〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
☎0940・32・3222 ㊦32・3385
http://www1.biz.biglobe.ne.jp/fmokuso/index.htm

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
年間テーマ：「聖霊による祈り」
・日 時：12月11日（木）10時～15時
・内 容：霊と花嫁とが言う『主よ来て下さい』
指 導：Sr.マリアとS.フランコ神父
問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
＊「祈りの集い」以外にも諸宗教の方々との祈りなどが行われています。お問合せください。
☎0968・85・3100 ㊦0968・85・3186・玉名郡和水町崎浦
1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

カテドラルでのゆるしの秘跡

日時：12月20日、1月17日 第1・第3土曜日 10時～12時
場所：カトリック大名町教会小聖堂
＊基本的に第1・第3土曜日。変更の場合もあります。

7日（日） 待降節第2主日／宣教地司祭育成の日（献金）
鳥栖教会堅信式
8日（月） 無原罪の聖マリア
福岡市民クリスマス（市民会館18時）
11日（木） 召命担当部門会議
召命祈願ミサ（大神学院19時30分）
12日（金） †M. コーフィールド〔2001年島崎教会〕
13日（土） 聖ルチアおとめ殉教者
明光学園クリスマス・ミサ
14日（日） 待降節第3主日
老司教会堅信式
†J. モラハン〔2002年水俣教会〕
21日（日） 待降節第4主日
23日（火） 青年会クリスマス会
24日（水） 降誕祭夜半ミサ（カテドラル大名町教会21時30分）
25日（木） 主の降誕（クリスマス）
久留米聖マリア病院クリスマス・ミサ
26日（金） 聖ステファノ殉教者
27日（土） 聖ヨハネ使徒福音記者
28日（日） 聖家族
31日（水） 大晦日
1月
1日（木） 神の母聖マリア／世界平和の日 元旦
新年ミサ（カテドラル大名町教会10時）
†C. バスチ〔2002年黒崎教会〕
4日（日） 主の公現
糸島教会堅信式／墓地祝福式
＊ゴシック文字は、司教日程
＊司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

福岡

■福岡祈りの会
〔日時〕毎週月曜11時から12時30分〔場所〕大名町教会（問合せ）〔内容〕賛美と感謝の祈り・聖書の分かちあい（代表）Br.床嶋（問合せ先）☎092・551・6279 松本
■召命祈願ミサ
〔日時〕12月11日（木）19時30分〔場所〕サン・スルピス大神学院聖堂（主式）青木悟神父（カトリック健康教会主任）
■召命を共に祈る会
〔日時〕12月18日（木）〔場所〕八代巡礼（問合せ先）浦川務神父（教区召命担当司祭・久留米教会主任）
■在セフランシスコ教会
〔日時〕12月21日（日）14時から〔場所〕高宮フランシスコ修道院在世会集会所（内容）アシジの聖フランシスコ
■北九州召命を共に祈る会
〔日時〕1月15日（木）14時から

北九州

ら（場所）カトリック小倉教会聖堂・信徒会館（内容）叙階式に感謝のミサ（司式）伊東成晃神父（門司教会主任）（問合せ先）☎093・963・2359 江口
■小倉祈りの集い
〔日時〕12月26日（金）13時半から15時〔場所〕小倉カトリック教会信徒会館2階（指導）ガブリエル神父（御受難修道会）（内容）「みことば」を味わう・賛美と感謝の祈り（連絡先）☎090・3985・5209 松田裕子
■佐賀祈りの集い
〔日時〕12月17日（水）10時から12時
11時30分〔場所〕佐賀カトリック教会内容共に祈る（次回）休会（毎月第2と第4水曜日。どうぞご参加下さい。（問合せ先）☎0952・30・8347 吉武

佐賀

熊本

■カトリック看護協会福岡支部の集い（日時）1月11日（日）14時30分から（場所）エズスの聖心病院会議室（問合せ先）☎096・352・7181 Sr.竹内
■熊本地区召命を共に祈る会
〔日時〕12月18日（木）11時〔場所〕カトリック健康教会（内容）ロザリオと話し合い（問合せ先）健康教会☎096・368・2825 青木悟神父
■熊本結婚準備講座
〔日時〕1月24日（土）12月21日（土）19時から21時半、毎週土曜日全5回〔場所〕カトリック手取教会（参加費）カッブルで一万円（問合せ先）☎096・352・3030 096・352・1515
司教館の住所表記変更
旧〓福岡市中央区浄水通39番地
新〓福岡市中央区浄水通6番28号

編集後記

列福特集号をお届けいたします。悪天候の中、長時間にわたるミサでしたが、殉教者に照らされて参列者の皆様の顔は輝いていました。日本のカトリック教会にとって歴史に残ることですので、通常よりも2ページ増やし、教皇メッセージや司教様方の説教などもできる限り掲載いたしました。ご熟読ください。活用していただければ幸いです。21世紀を歩む私たちの教会は、新福者の時代と共通の記憶を大切にしながら刷新に向けて一歩を踏み出しましょう。4面に188人福者の列聖を求める祈りを掲載していますので、引き続き祈りましょう。最後に、会場下見の段階から一緒してください。また当日も数多くの素晴らしい写真を撮ってくださいました小田崎さん（行橋教会）に心から感謝申し上げます。

COSMOS
スポーツ用品・OA・文具
コスモス

〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
TEL 0942-77-3199
代表者 ペトロ 平田 清



医療法人 雪ノ聖母会
聖マリア病院

*** 募集 ***
《医師》《看護師》

勤務形態：4週8休 ※詳細は人事課へお問合せ下さい。
★がん診療連携拠点病院★地域医療支援病院
★入院基本料（一般病棟）7：1
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422番地
TEL 0942-35-3322（代表）FAX 0942-34-3115
【ホームページ】http://www.st-mary-med.or.jp

天然素材の健康住宅
大地・海・山の恵みを取り入れ優れた素材をそのままディスカウントした住まいづくり
ナガシマ建築工房
社長 ヨゼフ 長島哲夫
福岡市早良区飯倉8-10-17 TEL:092-871-0063
ナガシマ建築工房 福岡 検索

サンパウロ福岡宣教センター
〔キリスト教書籍・信心用品専門店〕
クリスマス・新年 準備OK?
クリスマス絵本・用品・カレンダー・手帳
1階 聖書・信心書・聖人伝・キリシタ関係・絵本・一般書等
2階 家庭祭壇・十字架・ロザリオ・ご像・ご絵・CD・DVD等
営業：10:00～18:00（待降節中の日曜日・定休日：日曜日・祭日）※駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
tel.092-721-2032 fax.092-739-3930

皆さん、私達はいま、「ペトロ岐部神父と187人日本殉教者」が列福され、大きな喜びと深い感動を味わっています。ところで私たちは殉教者、殉教者と、いとも簡単に呼んでいます。一体、どのような人を殉教者と呼ぶのか、まず、その言葉の意味をはっきりさせることからお話を始めたいと思います。

カトリック教会では、伝統的に、信仰の真理を証しするために、すなわち、イエス・キリストの恵み、神様の愛を忠実に証明するために命を捧げた人を指して、殉教者と呼んでいます。これはイエスキリストに倣う最高の生き方であり、キリストの証しと救いの業への最高の参与として捉えられています。新約聖書の終わりの書、ヨハネによる黙示録」は「忠実で真実な証人」(黙示録3章14節)であるキリストに倣って教会と世界に血の証をした殉教者が受けた試練と栄光を讃えています。

教会の歴史をみますと、初代教会から現在に至るまで、世界の各地にキリストに倣ってこのように、血を流して神様を証した殉教者は枚挙に暇がありません。

日本における、キリスト教の歴史は1549年聖フランシスコ・ザビエルの来日によって始まりました。彼らは風俗、習慣、言語などの違いにより大きな困難に遭遇しましたが、宣教師たちの熱意と日本人信徒の協力により、困難の中にあっても、いちじは約30万人の信徒が数えられたといわれています。当時の日本社会は大名たちが群雄割拠していた時代であり、宣教師たちが自由に働けるか否かは、その地の権力者である大名たちによって決められていました。快く受け入れた大名、条件づきで受け入れた大名、拒絶した大名などおりま

名、拒絶した大名などおりました。フランシスコ・ザビエルが当時の都、京都を訪れ天皇と仏教の最高学府比叡山に敬意を表し、日本全国への宣教許可を求めるために、面会を願ったところ、その面会は断られ、失望のうちに京を離れたことは、よく知られていることです。

信長の後を継いだ秀吉の時代に入ると日本社会がほぼ統一に向かいはじめ、キリスト教に対する態度が変わってきました。1587年秀吉は宣教師たちの追放を命ずる「伴天連追放令」を出し、地域的に温度差はありましたが、各地で迫害が始まりました。まずキリスト教を宣べ伝える宣教師とその身近な協力者が迫害の対象となりましたが、次第に地域も対象も広げられ、秀吉の追放令が出て、10年目の1597年にフランシスコ会のペトロ・パブチスタ神父、イエズス会のパウロ三木神父をはじめとする聖職者9人と信徒17人の所謂26聖人の殉教がありました。

徳川の時代に入り、家康、秀忠、家光と代を重ねるに従い迫害は熾烈を極め、殉教者の数が増大していきました。キリシタン研究家でもある溝部司教により「名前、殉教の日時、場所などが正確にわかっている殉教者だけでも5500人をくだらないそうです。また確かに殉教したけれど、名前のはっきりのわからないものは約二万人に及ぶといわれています。(これらのことは当時の唯一の司教セルケイラを初め宣教師たちのローマ教皇、また修道会本部に送られた報告書、日本の各地に残されている歴史資料(古文書)などによって明らかにされています。因みに外国に送る手紙、報告書などは当時の状況下、確実に届くように、一度に3部作成さ

れ、異なる船で送られたため、ローマの教皇庁資料室には同じ文書が2通あるのもあるそうです。これらの殉教者のうちすでに26人の聖殉教者、205殉教福者、さらに16人のドミニコ会関係者(司教、修道者、第三会員、信徒)がローマ教皇様より公に福者として宣言されています。

今日新たにペトロ岐部神父ほか187人の殉教者が福者として宣言されました。今、ひとりずつ紹介することはできませんので、今回列福された福者に共通する特徴について、お話しします。

1 今回は日本各地の殉教者で、時代を越えて各地で尊敬されてきた人々です。北から申しますと米沢の53人、江戸2人(但しそのうちのひとり、ペトロ岐部神父は大分県国東半島の出身で、江戸で殉教した人です)。そのほか京都の52人、大阪、広島、山口、萩、小倉、大分、熊本、有馬生月、島原、雲仙、長崎西坂、天草、八代、薩摩(鹿児島)で殉教した方々です。

2 この188人殉教者は、全員日本人で、信徒183人とその信徒たちに徹底的に仕えた代表的な四人の司祭、ひとりの修道者です。

3 また性別、年齢、職業などをあげますと。男性121人、女性67人、年齢では最高年齢者は米沢の武士、ルイス甚右衛門の80歳から1歳の子供まで含まれています。なんと1歳から4歳までの子供が29人もいたのです。そのほかの人は、殆ど働き盛りの人でした。職業としては上級武士、下級武士とその家来、一般庶民、農民などとその妻、子供、奉公人のような方々で、健康人だけではなく、身体障害者2人も含まれています。

私たちは「恐れるな」と呼びかけられています

白柳誠一枢機卿説教全文



このたびの福者のなかで目立つことは、一家揃っての殉教です。主人、妻、子供たちというケースが大変多いことです。これは司祭たちによる熱心な信徒養成、また、家族一体となつての信仰の実践、近辺の信徒の家庭が一緒になつて小さな教会の役割を果たしたこと、特に迫害下にあつては「家庭教会」として、信徒たちが役割分担して子供たちに教理を教えたり、一緒に祈ったりして信仰を深め、神様の特別な恵みで殉教をも

は日本の迫害の歴史が大変長期にわたったこと、またその残酷さ、弾圧の徹底さなど、世界に類のないものがありました。

このたび列福された殉教者は1603年の熊本、八代の殉教から、1639年江戸の殉教までの36年間に殉教した方々の一部です。しかし徹底的弾圧、キリスト教の壊滅を期して、踏み絵を踏ませて信仰を調べる絵踏み、5人組制度による信徒の詮索、懸賞金をかけての捕獲、キリシタン

私達の先輩たちの信仰の質の高さと、その深さを感じないではおられません。

さて、日本における殉教の歴史をみてきた私たちは、最後にこれらの殉教者たちが現在の私達に何を伝えたいのか、彼らの列福にはどんなメッセージがあるのか、一緒に考えてみましょう。

1 聖パウロはローマ人への手紙の中で述べています。「誰がキリストの愛から私たちを

けています。

2 家族が全員一緒に殉教したケースが多いと申しあげましたが、家族は社会を構成する最小の基本的共同体であります。すべての家庭がしっかりとあれば、社会もしっかりとしたものになります。殉教した家族は信仰、希望、愛で結ばれ、共通の価値観を持ち、何が起こっても動ぜず、困難に遭遇すれば互いに助けあい、励ましあつていました。現代の社会では老若男女、また生きる環境などの影響を受け、健全な家庭、一つに結ばれた家庭を見出すのは大変難しいと良く言われます。まして死よりも強い愛で結ばれた家庭は私たちの鑑みであり、その家庭には生きる喜び、生きがい、充足観が満ちております。このような家庭をつくるようにと殉教者は私たちに強く呼びかけていることでしょう。そのためには殉教者に倣い、家庭で皆そろって神の言葉に親しみ、ともに祈ることが必要です。

引き離すことができません。分の宗教を申告する制度：宗門改め、などによる弾圧は、大変長く続けられました。宗門改めは鎖国が始まってからも222年間、1864年まで、また禁札は明治時代まで続けられました。このような過酷な条件のなかでも代々家族は、例えば：京都のヨハネ橋本、妻テクラ、5人の子供たち。八代のシモン竹田、妻アグネス、4人の子供、シモン竹田の母。熊本の小笠原玄也、妻マリア、息子6人、娘3人奉公人4人。もう一つの際立っていること

「一同はひたすら使徒たちの教えを守り、兄弟的交わりを大切にし、パンを裂き、祈りをしていた。信じる人たちは皆ひとつとなり、すべてのものを共有し、財産や持ち物を売り、それぞれの必要に応じて、みんなでそれを分配していた。彼らはすべての民に好意をもたれた。主は救われる人々を信者の数に加えてくださった」。私たちの教会、信仰共同体が神の愛の目に見えるしるしとなるよう、殉教者強く訴えています。

3 キリシタン時代の信徒は近辺の方々と暖かい交わりを大切にしています。例えば米沢では殉教の噂をきいた近隣の人がお上の人、責任者を訪れ、キリシタンの立派な生活を話し、迫害しないよう頼み込んだことが頻繁にありました。またお上も、それを充分知っていて、捕獲、投獄をせず、処刑の日になつて致し方なく、連行したことがあります。また近所に住む処刑の役を命じられた人が、処刑の前夜、キリシタンの家を訪れ、酒を飲み交わし、赦しを願ったという話もあります。使徒言行録は初代教会について述べています(2章42-47)。

4 殉教者は呼びかけています。毎年3万人以上の自殺者が出る日本の社会に呼びかけています。生きるとはどういうことか、死ぬとはどういうことか、人間は何のために生きるのか、人生の目的、意義とは何か、苦しみに意味があるのかなどの人生の根本問題について深く考えるよう求めています。

信仰の自由を否定され、殺された殉教者は叫んでいます。神の似姿に創られた人間の尊厳性、また人間が持つ固有の精神的な能力、考え、判断し表現する自由などの重要性、それに反するあらゆることを避けることを強く訴えています。なかでも人間の生きる権利が胎児のときから死にいたるまで大切にされること。武器の製造、売買、それを使つての殺人行為である戦争。極度の貧富の差により非人間的生活を余儀なくされている者たちへの配慮など、すべての人が大切にされ、尊敬され、人間らしく生きれる世界となるよう祈り、活動することを求めているに違いありません。

さあ、皆さん、恐れずに歩み、一緒になつて進みましょう、怖れるな、怖れるなと神様がそして殉教者が呼びかけています。皆さん恐れるな。

教皇代理 ジョゼ・サライヴァ・マルティンス枢機卿

ペトロ岐部と187殉教者の列福に
対するメッセージ



穂となつたの
であり、彼ら
の後に続いた
数多くの殉教
者は、自分た
ちの苦しみと
死によってこ
の土地を更に
聖なる土地と
したのでした
きよう、私は

1 愛すべき日本の地の皆様、ペトロ・カスイ岐部と187人の殉教者の列福式を主宰する名譽をいただいたこのミサ聖祭の終わりに、参列しておられる皆様と、また教会の存在意義を深く感じるこの瞬間を遠くで分かち合っておられる皆様と、喜びを共にしたいと思ひます。ベネディクト十六世教皇聖下が、代理として赴くことを委ねたこの意義深い出来事を、私は幸せに思い、皆様に教皇聖下からの使徒としての、また父としての祝福をお届けします。

2 ヨハネ・パウロ二世教皇聖下は1981年2月26日、ここ長崎において、次のように語りました。「きよう、私はこの長崎の殉教者の丘、多くのキリスト信者が生命をいけにえとしてささげ、キリストに對する忠実のあかしをたてたこの丘を訪れる、数多くの巡礼者の一人になりたいと望んでいます。1597年2月5日、西坂で26人の聖殉教者が十字架のもつ大きな力の証しとなりました。実際、彼らは多くの殉教者の初

3 年齢と環境が異なり、場所と時間が違つても、多くの殉教者が示している忠実さは、いのちをかけて信仰をあかしすること、人間が持つ自由の最高の表現、最大の愛の行いであり、それは教会の教えが生きていることのしるしです。聖アウグスティヌスは「迫害や拷問が殉教を生むのではなく、キリストこそが、あかしの理由であり動機なのである」（詩編注解34、2等を参照）と書き残してい

4 主イエスの「これを私の記念として行いなさい」ということばによつて毎日新たにされている教会は、同時に、「行つて人びとに福音を伝えなさい」というキリストを宣教する教会でもあり、それはまた、血が流されてできた殉教の教会でもあります。それゆえ、私たちの本日の集いは、信仰と教会の交わりを味わう喜ばしい体験のひとつです。それは、たくさんの男性と女性の信仰、若者と子供、の、独身者と家族の、その多くが信徒であつた、キリストへの信仰を血を流してでも言い表そうとした人びとの信仰によつて築かれた教会です。こ

宣教師としての自己表明」(93項参照)であることを強調したのである。殉教者の一団によつてこのように養われ、教会の祭壇で榮譽を称えられた、日本における神の民の優れた証言は、それゆえ、長い期間にわたつて働き続ける原動力であり、日本の教会共同体のこれからと、日本全体の未来のための希望の泉となるものです。

5 ペトロ岐部と187人の殉教者の列福の式典に当たり、殉教者の女王である聖母マリアが、その取次ぎに信頼し、愛をもつて、いつの日にも、福音のために生涯を捧げ、死んで復活したキリストを証する恵みを願う人びとを、すべて守つてくださいますように。

長崎にて
2008年11月24日
ジョゼ・サライヴァ枢機卿

辞 謝

列聖列福特別委員会委員長
日本教会がいま決意している
熱い思いを伝えてください



がいま決意している熱い思いを伝えてくだされば幸いです。1981年より始まつてこの列福運動は27年の歳月を経ました。長いと言え、短いと言え、この間ローマの列福聖省はとまどうばかりの私たち準備委員を常に励まし、目に見える形で援助してくださいました。振り返つて見ますと、わたしは枢機卿様とは計8回この件に関してお会いしていることになりました。今日で9回目です。その間、国務長官とは2回、二人の教皇さまヨハネ・パウロ二世とベネディクト十六世とはそれぞれ「回すつ合つています。恥ずかしいほど無知であつた私たちを初歩の段階からこのようにプロセスを通してこの実現に向けるかを懇切丁寧にご教示くださいました。実現するように励ましてくださることが何よりも大きな励みでした。この間実感したことは、日本教会は世界の

教会と繋がっているというものでした。この27年間の歩みの中でこの場をお借りして感謝申し上げます。最初の方にいます。最初にこれを発案なさつた司教様方、その多くは現役を引いています。この世を去つていきます。特に最初からご尽力くださった白柳枢機卿様、平山司教様にはこの場をお借りして感謝申し上げます。きつと感無量のこととお察し申し上げます。歴史調査委員で資料の大半を提示し提出する文章の大半を書いてくださった故チー・スリク神父さま、そして、日前に亡くなり老いてなお列聖の情熱を失わずに

働き続けてきた日本26聖人記念館前館長結城神父に格別のお礼を申し上げます。同時に、法的なこともなさつてくださったオボンコ神父さまにもお礼を申し上げます。思います。どんな賛辞を述べても足りない働きをしてくださいました。この3人無しに列福は実現しませんでした。今回の列福運動は日本教会の刷新と活性化を求めたところに特徴があります。400年を経て共通の思い出を



大役を果たされ退場なさる溝部司教、岡田大司教、A・ボッターリ・デ・カステッロ駐日教皇庁大使、高見大司教（左から）

私たち信仰者は有しています。時代が変わつてもその時代を生き抜く力と勇氣を今を生きる私たちには先達から頂いています。その時代を生き抜いた昔の信仰者は現代を生きる私たちにメッセージを投げかけています。真摯にそれを受け止め毎日の生活に於て実践して行くことを誓つて私のお礼の言葉にかえさせて頂きます。列聖列福特別司教委員会委員長 高松教区司教 溝部脩

福者ペトロ岐部と一八七殉教者の取り次ぎを願ひ、
その列聖を求める祈り

いつくしみ深い父よ、
福者ペトロ岐部と一八七殉教者は、復活のいのちを約束してください。あなたの愛に希望を置き、自らキリストの十字架を担い、その死を身に帯びる生き方を選びました。
殉教者の取り次ぎによつて祈ります。現代に生きるわたしたちが、どのような困難なときにも聖霊の助けに信頼し、キリストに従ひ、あなたへの道をひたすら歩むことができますように。
また殉教者のあかしが、世界に生きるすべての人の希望となるよう、ペトロ岐部と一八七殉教者を、一日も早く聖人の列に加えてください。わたしたちの主イエス・キリストによつて。アーメン。
(日本カトリック司教協議会認可)